

2017年11月28日  
中部電力株式会社

## 2017年度 中部エリアの冬季電力需給見通しについて

今冬の電力需給は、国等が検証を行った結果、火力増出力運転およびエリア間取引の活用が行われることで、安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しです。

### < 厳寒1点最大電力<sup>※1</sup> バランス (火力増出力運転およびエリア間取引考慮後) >

	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月
最大電力 (A)	2,265 万 kW	2,364 万 kW	2,364 万 kW	2,196 万 kW
供給力 (B)	2,358 万 kW	2,435 万 kW	2,435 万 kW	2,282 万 kW
供給予備力 (B-A)	92 万 kW	71 万 kW	71 万 kW	86 万 kW
供給予備率 (%)	4.1%	3.0%	3.0%	3.9%

※1：至近10か年で最も厳寒であった年（2011年度）と同程度の気象条件が発生した場合の最大電力  
注）四捨五入の関係で計算が合わない場合があります

### < 国等による電力需給検証 >

電力広域的運営推進機関「調整力及び需給バランス評価等に関する委員会」

<https://www.occto.or.jp/oshirase/kakusfuiinkai/2015-0501-1313-40.html>

経済産業省「総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会」

<http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/data/20171030001.html>

以 上